

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

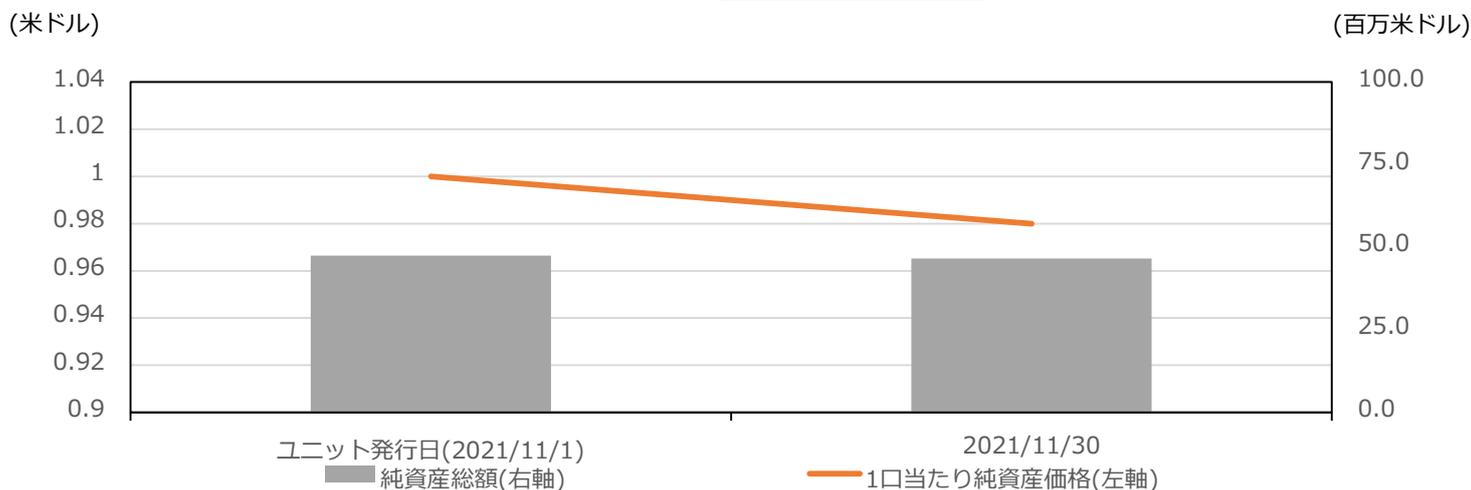
MS Star Fundsは、代行協会員となる三田証券株式会社の100%子会社（シンガポール現地法人）である三田キャピタル・プライベート・リミテッド（以下、「三田キャピタル」と言います）が投資運用会社として運用を行っています。三田キャピタルは、シンガポール金融庁（Monetary Authority of Singapore）に登録された投資信託の運用会社（Registered Fund Management Company 以下、「RFMC」と言います）であり、シンガポール証券先物法に基づく資本市場業務の免許を免除されています。RFMCが運用を行う投資信託については、投資を行うことができる投資家の適格要件が定められておりますので、投資をご検討のお客様は販売会社までお問い合わせください

ファンドの目的

ファンドの目的は、世界の投資可能な優良ヘッジファンドに分散投資を行うことにより、リスクを徹底管理して資産の保全に注力しつつ、長期にわたり安定的な絶対リターンを追求し、投資家に貢献することです。

■ 1口当たり純資産価格と純資産総額の推移

純資産総額 46.5 百万米ドル



・1口当たり純資産価格は、運用管理費用控除後の値です。

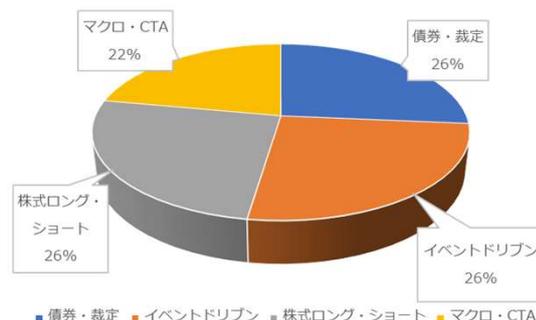
■ 運用実績(費用控除後) :%

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年初来	過去12ヶ月
2021	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-2.00		-	-

■ 投資先ファンド :%

ファンド名 (運用会社名)	戦略	比率
1 FengHe Asia (USTE) Fund Ltd.(FengHe)	株式ロング・ショート	6.2
2 Aristeia International Limited(Aristeia)	イベントドリブン	6.0
3 HG VORA Special Opportunities Fund(HG VORA)	イベントドリブン	5.8
4 Sachem Head Offshore Ltd.(Sachem Head)	株式ロング・ショート	5.7
5 DLD Convertible Arbitrage Offshore Fund(DLD)	債券・裁定	4.9
6 Polygon Convertible Opportunity Fund(Polygon)	債券・裁定	4.8
7 Glazer Enhanced Offshore Fund, Ltd.(Glazer)	イベントドリブン	4.8
8 Arete Macro Feeder Fund(Arete)	マクロ・CTA	4.8
9 Serenitas Credit Gamma Offshore Fund(LMCG)	債券・裁定	4.8
10 GCA Enhanced Offshore Fund(GCA)	債券・裁定	4.8

■ 戦略別エクスポージャー



(注)上記運用実績は過去の数値であり、将来を保証するものではありません。

MS Star Funds



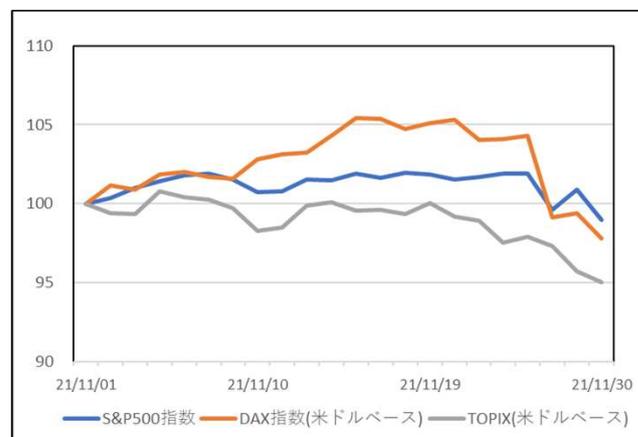
ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 当月の1口当たり純資産価格の変動要因(概算)

	寄与度(米ドル)
投資先ファンド要因	-0.0209
債券・裁定	-0.0003
イベントドリブン	-0.0045
株式ロング・ショート	-0.0085
マクロ・CTA	-0.0075
その他(運用管理費用等)	0.0009
分配金	-
1口当たり純資産価格(分配落後)	0.9800

・1口当たり純資産価格に与えた影響等をご理解頂くために計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

■ 【参考】 株式市況の推移



・上記は、期初を100として指数化したものの推移です。
出所: Quick

■ 投資運用会社コメント

2021年11月のMS Star Fundsは-2.0%の下落となりました。組入れ戦略別のパフォーマンスでは、株式ロング・ショート戦略が-3.3%、マクロ・CTA戦略が-3.4%と特に振るいませんでした。

11月はFRBがインフレ動向に関する見方を大きく転換した月となりました。具体的には、FRBの判断に影響を与えた物価関連の経済指標(消費者物価指数/雇用コスト指数/低中所得者層の離職率と賃金など)の発表や、イベント(FOMC/FRB議長指名など)が相次ぎ、金融市場は株式市場に留まらずコモディティ市場や仮想通貨市場に至るまで、上下に激しく動揺しました。例えば、米国の小型株指数(ラッセル2000指数)は、11月早々に前月末比で一気に+6%強も駆け上がった後に、そこから月末までに一気に-10%以上も反転下落して、月間ベースでは-4%超のマイナスリターンとなりました。このような市場の上下動は、本来MS Star Fundsが収益の源泉とするところなのですが、最近のインフレ高進が市場参加者の想定を上回っており、市場がそれを織り込めていなかったこと、また月末に南アフリカにおいてコロナ・ウィルスの変異種オミクロンによる感染が報告されたことなどから相場が急落。それまでプラスで推移していた基準価格が一気にマイナスへと転落しました。ただ、オミクロンに関しては、相場の行方を占う上での「ゲーム・チェンジャー」になり得るとは、現時点で考えておりません。12月に入り、オミクロンへの過剰な相場反応により失った部分は徐々に取り戻しつつあります。

我々は、複数のヘッジファンドマネジャーからの情報などを基に、年末から来年に掛けて米国を中心に物価上昇局面が続き、中央銀行も金融政策の一部変更を強いられるとのベースシナリオを立て、組入れマネジャーの選定も行って参りました。しかし、11月末の「Flight to Quality」(質への逃避、金利とリスク資産の一斉下落)的なマーケットの値動きを見る限りでは、「たとえインフレが悪化してもそれは一時的な事象であり、FRBに金融緩和政策の変更まで強いる程のものではなかろう」との甘い見方に留まっていた市場参加者が大半であったことを示唆していると感じます。

11月にわずかな遠回りをしたものの、現在、市場で起きていることは、MS Star Fundsの運用スタンスや、組入れマネジャーのベースシナリオとほぼ合致しています。株式ロング・ショートやイベントドリブン戦略であれば、(割高なハイ・グロース株を恐々買い進むよりも)ボトムアップでの個別企業銘柄の選定が奏功する地合いとなります。相対的なマーケット・ボラティリティの上昇は、マクロ・CTA戦略などトップダウンのトレーディング戦略が有効です。そのため、当面は現状のポートフォリオのポジションを維持する方針です。

※流動性などの要因で純資産価格の確定に時間を要するファンドにも一部投資をしているため、MS Star Fundsの純資産価格確定には約一カ月の期間を要することから、月次報告書の作成は報告月の翌々月上旬頃となることご了承下さい。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

債券・裁定戦略

1 Serenitas Credit Gamma Offshore Fund

<運用会社名> LMCG

(ご参考) 当月計上リターン

-0.24 %

<ファンド概要>

主に、ハイイールド社債およびモーゲージ証券(住宅ローン担保証券)と、これらを対象とする派生商品等へ投資します。市場のミスプライスを見つけ、割安な投資対象を買い、割高な投資対象を売る、いわゆるレラティブバリュー戦略をとっていきます。

ハイイールド債への投資により、クーポンによる高いインカム収入と割安度解消によるキャピタルゲインから着実なリターンを獲得しつつ、デリバティブを活用し、金利やクレジットスプレッドの動きによる価格変動リスクをヘッジします。リスクを押さえつつ、安定しリターンの獲得が期待でき、ミドルリスク・ミドルリターンの投資となります。

2019年に、ユーリカヘッジのBest North American Relative Value Hedge Fund を受賞。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

主戦場であるCRTやIO/IIOなど住宅モーゲージ証券の派生商品市場は、流動性が偏在する現象の犠牲者として、割安な証券が更に割安へと売り叩かれる逆風下の運用環境が続いています。この非効率性が解消されるタイミングを見逃さぬよう、ヘッジングとトレーディングを駆使して評価損の最小化を徹底しています。

2 Galton Agency MBS Offshore Fund

<運用会社名> Mariner/Galton

(ご参考) 当月計上リターン

-3.22 %

<ファンド概要>

エージェンシーMBS(住宅ローン担保証券)を対象とし、「ストラクチャードMBS投資」(配分70-80%)と「CMO創出アービトラージ」(配分20-30%)の二つのサブ戦略を運用します。

「ストラクチャードMBS投資」サブ戦略においては、相対価値アプローチによって過小評価されている債権を特定し、主にIO・IIO債(MBSから利払いのみを分離させた派生商品)に投資します。

「CMO創出アービトラージ」サブ戦略においては、ファンド内でMBSの派生商品を組成した後、PO債(元本部分)は仕入値より高い値段で金融機関等に販売し、IO・IIO債(金利部分)は主に「ストラクチャードMBS投資」サブ戦略内で運用します。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

FRBのテーパリングとインフレ懸念による金利上昇が続けば、住宅モーゲージ市場の借り換え需要と期限前返済リスクは低下するので、IO債は価格上昇が経済合理的です。しかし11月末の市場急変で一斉にリスクオフの動きが強まり、IO債のスプレッドは急拡大へ。再度のマイナスリターンを余儀なくなされました。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

債券・裁定戦略

3 Polygon Convertible Opportunity Fund

<運用会社名> Polygon

(ご参考) 当月計上リターン

0.36 %

<ファンド概要>

欧州及び北米市場を中心に価格乖離が起こっている発行体（主に中小銘柄）の転換社債に投資します。エクイティポジションと一部債権をロング・ショートポジションで組み入れることで、マーケットリスクを抑制しながら絶対収益を追求するリスクニュートラル且つ低ボラティリティの戦略を採用しています。

転換社債に焦点を当てたヘッジファンドの多くがアービトラージ志向の戦略をとっているのとは対照的に、当ファンドはカタリストになるM&Aや企業再編等のイベントから更にディスカウント・プレミアムが発生している投資対象を発掘するのが特長。ディストレスト銘柄への投資も行います。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

11月末の市場急変で保有する転換証券は値下がりしましたが、一方で個別銘柄のボラ水準が上昇したため、ベガとガンマの収益機会により前者の評価損を相殺しました。11月は日本の航空会社を筆頭にグローバルで150億ドル超の新発債発行も追い風。北欧エネルギー企業の借換えなどイベント案件が収益寄与しました。

4 DLD Convertible Arbitrage Offshore Fund

<運用会社名> DLD

(ご参考) 当月計上リターン

1.00 %

<ファンド概要>

米国転換社債市場における相対取引の機会を特定し、株式市場やクレジット市場との相関が低い、優れたリスク調整後リターンの創出を目的とします。また、投資対象の転換社債と関連する上場株式・上場オプション・社債によってヘッジを行います。

米国成長企業による転換社債発行が加速度的に増えている一方、米国転換社債市場は主にロングオンリー投資家やインデックスファンドによって支配されているため、インデックスに入らない企業の転換社債はディスカウントされる傾向にあります。転換社債トレーダーのタレントプールが不足しているため新規参入は限られており、投資機会は当面続くものと思われます。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

11月の市場急変により、業績の悪化→ボラ水準の上昇(≒株価下落)予想に基づく"Synthetic Put"と呼ばれる転換証券を多く保有していたことが奏功。月間高値から株価が約▼30%下落した米国の映画館チェーン銘柄が一例ですが、アセットスワップで信用リスクをヘッジした上での投資が収益を更に上乗せしました。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

債券・裁定戦略

5 GCA Enhanced Offshore Fund

<運用会社名> GCA

(ご参考) 当月計上リターン

-0.41 %

<ファンド概要>

ファンダメンタル・リサーチ（企業信用分析）を重視したクレジット・ロング・ショート戦略によって、主に米国の上場企業債権・ローンに投資します。特にバランスシートのレバレッジ、営業利益率、キャッシュフロー、市場シェア等のファンダメンタルズが変化している企業を対象とします。投資手法は、ディレクショナル・ロング・ショート、イベントドリブン、相対価値等複数の戦略によって補完されます。

ロング・ポジション50~150銘柄、ショート・ポジション100~150銘柄を保有します。ターンオーバー（銘柄入替え割合）は月次80%以上で平均保有期間は5カ月間です。また、流動性を重視するため取引サイズは数億ドル規模が中心です。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

11月末の市場急変による信用スプレッドの拡大加速がキャリー収益を浸食しました。ロングとショートでセクター配分の偏りは最小限ですが、テクノロジーや娯楽/レジャーなど消費関連の保有銘柄で値下がりが目立ちました。またショート側に指数先物が多かったこともヘッジ機能として物足りなかった一因です。

6 Millstreet Credit Offshore Fund

<運用会社名> Millstreet

(ご参考) 当月計上リターン

1.42 %

<ファンド概要>

中小資本（主に米国内）のハイイールド・クレジット（社債及びレバレッジド・ローン）を対象とした、ロング・ショート・クレジット戦略を運用します。一部の中小企業の債権は、優良な資産と優れた実績及び成長プロフィールにもかかわらず、投資信託や大規模ヘッジファンドがポジションを取るには規模が小さすぎるため多くの投資家の目に触れずに結果として本源的価値からの大幅ディスカウントで取引される傾向にあり、このようなミスプライシングの機会は近年更に増えております。

本ファンドは、ファンダメンタル分析によって上記の様な債権のミスプライシングを特定して投資、通常は満期まで保有（平均保有期間1-1.5年程度）してリターンを稼ぎます。年に数回程度は投資先企業の再編にも携わります。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

事業キャッシュフローは十分でも財務体質が見劣りする、半導体の原料製造やエネルギーサービスなど低格付けの非上場企業向けローンや社債の値上がり益を享受しました。上場市場の短期的なノイズに左右されにくいミドルマーケット（一般的にEBITA1億ドル以下の中小企業）の長所が存分に発揮された格好です。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

イベントドリブン（債券）戦略

7 HG VORA Special Opportunities Fund

<運用会社名> HG VORA

(ご参考) 当月計上リターン

-3.50 %

<ファンド概要>

主に、市況や財務状況の見解が異なることにより生じる価格乖離を見極め、ネットリターンを創出する戦略をとります。ファンダメンタルズ分析を重視しており、法人の発行有価証券ヘクレジット（50%）、株式（30%）、キャッシュ（20%）のウェイトでロング・ショートの投資を行います。投資対象地域の88%は米国で占めています。株式市場のダウンサイドをヘッジしながら、長期的に魅力のある絶対収益を生み出すことをゴールとしており、市場のベータ値ではなく企業固有の状況やイベント等を重視します（例えば M&A 等のイベントによるリターン創出等）。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

破綻再生過程を終えて上場したレンタカー企業への投資を同業他社のショートでセクターヘッジしましたが、運悪く後者の銘柄が「ミーム化」して損切りを強いられました。ゲーム業界や航空産業など景気敏感セクターのイベント・ドリブン案件に収益機会を見出していることも、目先防戦を強いられている要因です。

8 Aristeia International Limited

<運用会社名> Aristeia

(ご参考) 当月計上リターン

0.43 %

<ファンド概要>

1997年の設立以来、徹底的なファンダメンタル・リサーチと独自のテクノロジー（クオンツツール）を活用して、債権に特化したレラティブバリュー戦略及びスペシャル・シチュエーション戦略を運用して参りました。どのようなクレジットスプレッド環境下でもリターンを上げることを目標としており、米国を中心に世界中の発行体に投資します。レラティブバリュー戦略の投資対象は多岐に亘りますが、CIOのバックグラウンドから特に転換社債に強みを持っています。スペシャル・シチュエーション戦略においては、ファンドの規模（ファームAUM：約US\$52億）を活かして、再建型倒産等のプロセスでリーダーシップを取ることができます。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

現在のポートフォリオが株式より債券への配分が多いこと。また株式は白紙小切手状態のSPACsに特化しており、債券も社債よりソブリン債を多く保有していることが、市場リスクやベース・リスクの露呈を最小化して、11月に希少なプラスリターンを残しました。次は「リスク・オン相場」での飛躍をチェックです。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

株式ロング・ショート戦略

9 Steadfast International Ltd.

<運用会社名> Steadfast

(ご参考) 当月計上リターン

-6.80 %

<ファンド概要>

米国株を中心に大型・中型株のボトムアップアプローチにより銘柄を選定、柔軟な投資手法によりあらゆる相場局面でリターンを生み出しうる株式ロングショート運用戦略。

投資手法(グロース、GARP、バリュー)を相場局面に応じて使い分けると共に、全セクターを投資対象とすることで、グロース相場、バリュー相場にかかわらず、安定したパフォーマンスを実現します。

20年以上にわたる運用実績は、安定的なパフォーマンスを示しております。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

月末のポートフォリオ・エクスージャーはグロス130%/ネット+40%、月間の収益寄与率はロング▼5.6%/ショート▼0.4%です。業績面での大きな見落としはないものの、フィンテックやソフトウェアまたネット商取引関連の投資銘柄で月末に株価急落となりました。一旦リスク削減するも、基本的に継続保有です。

10 Sachem Head Offshore Ltd.

<運用会社名> Sachem Head

(ご参考) 当月計上リターン

-4.73 %

<ファンド概要>

欧米株式を中心に時価総額10億ドル超の個別銘柄をボトムアップアプローチで選定します。バリュエーションはGARPを重視して“High Quality”の企業を志向します。

所謂“High Quality”企業でありながら、外部環境や事業構造など何らかの要因で株価が不当に評価されている銘柄を保有し、1) カタリスト待ちの一般的なイベント投資, 2) 同社主導で自らカタリストを起こす友好的なアクティビスト投資の何れかでアルファ獲得を目指します。

ショート側は個別銘柄でアルファ獲得を目指す場合もありますが、ロング保有銘柄のマーケット/セクターリスクヘッジ目的が大半です。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

月末のポートフォリオエクスージャーはグロス210%/ネット+83%、月間の収益寄与率はロング▼6.4%/ショート/+1.6%です。経営者と建設的な関係を築いて投資するアクティビスト銘柄群が月末に株価急落しましたが、これら個社毎のファンダメンタルズには何らマイナスの要因はなく、今後も継続保有です。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

株式ロング・ショート戦略

11 FengHe Asia (USTE) Fund Ltd.

<運用会社名> FengHe

(ご参考) 当月計上リターン

3.61 %

<ファンド概要>

アジア（特に中国）における公開株式のロング・ショートポジションを運用することで、絶対収益獲得を目指します。アジアの株式及び産業の周期的な性質からもたらされる投資機会に着目します。VC事業から得られたアジア（特に中国）の企業・市場・経済における知見を活かして投資機会を発掘します。中心となる投資テーマは1. 中国、2. テクノロジーサプライチェーン、3. 東南アジアで、独自の分析システムや投資フレームワークを使って各企業のビジネスサイクルと市場センチメントに関する広範な調査と理解を深め、投資のタイミングとサイズを適切に決定します。中国本土の多様な企業や、特定技術のサプライチェーンに係る企業（台湾・香港・韓国・日本を含む）への投資によりリスク分散と低相関を維持します。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

月末のポートフォリオエクスージャーはグロス101%/ネット+34%、月間の収益寄与率はロング+4.7%/ショート±0%です。11月のアジア市場は米国市場の急変とは無縁だったことも奏功。消費/小売りセクターの銘柄を中心に、政府の景気刺激策が支援となった中国内需株のロングポジションが収益に寄与しました。

12 Palestra Capital Offshore Fund, Ltd.

<運用会社名> Palestra

(ご参考) 当月計上リターン

-6.78 %

<ファンド概要>

ファンダメンタルを重視した集中型ロング・ショート戦略の運用を行います。厳格なファンダメンタル・リサーチとプロセス重視のポートフォリオマネジメントにより、優れたリスク調整後のリターンを生み出すことを目標としています。ファンダメンタル・リサーチを通じて、「本源的価値」、「差別化」、「価値への道筋」という3つのプリンシプルが交差する投資アイデアを追求します。ポートフォリオ構築にあたっては、セクターおよびスタイル（バリュー/グロース）の分散をはかり、全天候型ポートフォリオを目指します。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

月末のポートフォリオエクスージャーはグロス130%/ネット+40%、月間の収益寄与率はロング▼7.0%/ショート+0.3%です。クラウドやネット関連の確信度が高い投資銘柄で、決算発表時に些細な落ち度を指摘されて株価急落する例が目立ちました。配分比率を下げて一旦リスク削減するも、基本的に継続保有です。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

株式ロング・ショート戦略

13 Boldhaven Fund

<運用会社名> Boldhaven

(ご参考) 当月計上リターン

-3.05 %

<ファンド概要>

同社は、欧州株式のロングおよびショートの両面にフォーカスしたローネットの集中投資型マネージャーで、資本ストラクチャー全体に投資する能力が強みです。キャッシュフローの創出と長期的な本質的価値を重視しています。ファンダメンタルを重視したボトムアップ投資アプローチを採用しており、著しく過小評価されている、またはミスプライスされている欧州証券を特定することを目指しています。

企業の収益の質や軌跡、本質的価値、または潜在的な価値を変えるカタリストについて、差別化された投資見解を持っている場合に投資します。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

月末のポートフォリオエクスージャーはグロス218%/ネット+52%、月間の収益寄与率はロング▼3.1%/ショート+0.1%です。米国株が急変した余波で月末にリターン悪化しましたが、BREXIT後も割安に放置された英国の内需銘柄を筆頭に、幅広い欧州銘柄を対象としてロング/ショートの投資アイデアは潤沢です。

イベントドリブン（株式）戦略

14 Glazer Enhanced Offshore Fund, Ltd.

<運用会社名> Glazer

(ご参考) 当月計上リターン

0.29 %

<ファンド概要>

企業買収による収益獲得機会を狙う合併アービトラージ戦略で、主に買収契約締結済[合併発表済]の案件への投資にフォーカスし、通常、買収企業をショート、被買収企業をロングにして合併までのスプレッドを収益の源泉としています。

合併の発表により買収企業と被買収企業の株価は合併条件に基づく理論上の比率に収斂しますが、買収発表後に契約の履行が反故になるリスクの存在から、わずかに残るスプレッドを確実に獲得していく手法です。

2020年は、SPAC(特別買収目的会社)への投資が奏功、リターン水準も大きく増加しており、従来以上のリターン獲得をしています。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

未だ白紙小切手状態にあるSPACsがポートフォリオの半分弱を占めますが、これらの株価が現金償還価値へと収斂する過程で手堅い収益を稼ぎました。11月もカネ余りPEファンド勢の買い手を筆頭に、50億ドル超の大型買収案件が高いプレミアムで数多く発表されており、当該戦略の収益源は当面盤石だと言えます。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

イベントドリブン（株式）戦略

15 Alpine Heritage Offshore Fund Ltd.

<運用会社名> Alpine

(ご参考) 当月計上リターン

-0.74 %

<ファンド概要>

当事者間で買収契約が締結済みの合併案件に限定した伝統的なリスクアービトラージ戦略を採用しています。米国のM&A案件を主な組入れ対象としますが、投資機会次第では欧州や日本の案件にも一定比率を配分します。

投資戦略の特性としては、個別案件毎に買収契約書の内容を独禁法抵触の観点から入念に精査した上で、当該銘柄の相対的な株価バリュエーションを吟味して投資サイズを決定するボトムアップの積み上げを長年に渡って愚直なまでに継続しています。

配分後は買収手続きの完了に向けて裁定スプレッドの縮小を待つパッシブな手法です。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

サイバーセキュリティソフトウェア開発企業の合併案件AVST/NLOKで独禁法抵触のリスクが高まりましたが、規制当局が無事に買収を承認して裁定スプレッドは大幅縮小となり収益に寄与しました。一方で半導体企業の大型案件XLNX/AMDでは、AMDが個別要因で株価急騰となり買収スプレッドが乱高下しています。

16 KL Special Opportunities Fund Ltd

<運用会社名> Kite Lake

(ご参考) 当月計上リターン

-5.38 %

<ファンド概要>

当事者間で買収契約が締結済みの合併案件に限定した伝統的なリスクアービトラージ戦略をコアとしたポートフォリオを構築します。但し組入れ対象として欧米の案件を中心にアジアを含むグローバルの案件をカバレッジしています。

投資機会に応じて、合併裁定取引以外の“ハード・カタリスト”銘柄にイベントドリブン戦略として、また破綻申請済みや破綻予備群に属する低格付け企業のクレジットにディストレス戦略として、各々機動的に配分します。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

主力の合併裁定取引ポジションでは収支均衡でしたが、その他の株式イベント・ドリブン投資や破綻企業へのクレジット投資の個別案件で損失が嵩みました。これらは夏場から前月末までの値上がり益を一旦確定する動きや、11月末の市場急落に影響された部分が大きく、更なる収益機会への確信度は高いままです。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

マクロ・CTA戦略

17 Blue Diamond Non-Directional Fund, SP

<運用会社名> Blue Diamond

(ご参考) 当月計上リターン

-2.36 %

<ファンド概要>

2011年のローンチ以来、独自の状態認識モデル（アルゴリズム）を用いて、システムティックに高ボラティリティ下の市場の非効率性を捉える戦略を運用しています。

具体的には、主にVIX（S&P500の変動指数）先物の商品内スプレッド（長短期先物間等）、及びVIX先物とS&P500先物との商品間スプレッドからリターンを創出します。

2019年には、HFMの「Quantitative Strategy – Under \$1bn」を受賞しました。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

個別銘柄では出入りの激しい11月も、株価指数は巡航運転で先物オプションの右肩上がりのカーブからキャリー収益を着実に積み上げました。しかし月末のオミクロン検出を契機に相場大波乱となり、同カーブは一気に逆イールドへと反転して評価損を計上へ。ボラ水準の収斂期待から今後の収益機会が膨らみます。

18 Haidar Jupiter International Ltd.

<運用会社名> Haidar

(ご参考) 当月計上リターン

-8.94 %

<ファンド概要>

主に先進国市場で株、債券、コモディティ、通貨等、様々な投資対象と戦略を駆使してリターン獲得を目指す、マルチ戦略マクロヘッジファンドです。

著名な金融経済学者でもあるCIOのHaidar氏が、彼の知見及びアナリストの調査によりマクロ経済見通しを確立し、頻繁にポジションを変更するアグレッシブな運用スタイルで、リターンとボラティリティ共に他マクロファンドと比較すると高くなります。

こうした運用スタイルが、株式市場や他の多くのヘッジファンドとの低相関を実現しました。20年近く運用実績があり、年間毎のパフォーマンスの差異は大きいですが、設定来16.1%のパフォーマンスを実現しています。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

持続的な物価高を見込んだポジションがズバリの中で夏場以降+40%超の荒稼ぎした直後で、相場のモメンタムは一旦小康状態でした。米ドルのロングとドル金利ショートやエネルギー先物ロングなどで構成されるポートフォリオは、タイミング悪く11月に関する限りは評価損が先行。一旦の防戦体制を強いられました。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

マクロ・CTA戦略

19 Arete Macro Feeder Fund

<運用会社名> Arete

(ご参考) 当月計上リターン

-0.22 %

<ファンド概要>

中国に重点を置いたグローバル・ディレクショナル・マクロ戦略を運用しています。

独自の分析フレームワークを用いて3~5つのマクロテーマを構築し、トップダウンアプローチにより株価指数、エクイティ・バスケット、金利、コモディティ、通貨デリバティブ等の流動性の高い商品に投資します。投資対象国は通常50-70%が中国で残りは先進諸国となります。

マクロ分析における強みは中国経済及び中国経済とグローバル経済の関連性への深い知見で、マクロテーマに対するコントラリアン分析（現在のマクロ環境は過去の似たような状況とどの様に異なるか）も行います。他のマクロファンドより厳格なリスク基準を設けていることも差別化要因です。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

テック銘柄を中心に政治面も含めたマクロリスクの高い大型株の指数をショートして、それらヘッドラインリスクが低く内需銘柄で構成される中型株の指数をロングする中国株同士のペアトレが収益に寄与。欧米のインフレ更新や新型コロナ蔓延から距離を置いたアジア市場特化型のポートフォリオ構成が奏功しました。

20 EDL Global Opportunities Fund Ltd

<運用会社名> EDL

(ご参考) 当月計上リターン

-5.90 %

<ファンド概要>

新たなマクロ経済トレンドを見極め、それを活用することで純粋なアルファを生み出すことを目的とした、グローバル一任型トレーディング投資ファンドです。

ファンダメンタルズ分析とテクニカル分析の両面からアプローチし、金融市場を動かしている主要なパラメータを特定した上で、これらのパラメータをバランス良く組み合わせたポートフォリオを構築します。投資ユニバースは、すべての主要な資産クラス（FX,株式、金利、コモディティ）で構成され、グローバルな視点に立ち、先進国市場と新興国市場の両方にオポチュニスティックに投資します。ダイナミックヘッジによるポートフォリオのボラティリティ低減、タクトカルトレーディングによる短期的な収益機会の獲得も行います。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

外為や金利/債券を主戦場に春先のリフレ相場を捉えて以降は好調を持続していましたが、11月末の米国連休中を襲った突如のリスクオフ相場に不意を突かれました。オプションでヘッジを増やしてポートフォリオのリスクを削減。ポジションの選択と集中を行った上で、引続き欧米経済のインフレ高進で稼ぐ計画です。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

■ 投資先ファンドの状況

マクロ・CTA戦略

21 Quantica Managed Futures Fund Inc.

<運用会社名> Quantica

(ご参考) 当月計上リターン

-0.84 %

<ファンド概要>

典型的なトレンド追随型のマネージド・フューチャー運用です。64の先物市場(株式19, 債券15, 短期金利5, 為替8, コモディティ17)を投資対象としており、リスク調整前のユニバースの段階で株式とコモディティの比率が高いのが特徴です。

運用モデルは短期から中期の保有期間を想定しており、ボラティリティの予測モデルを取り入れることで、「Early-in & Early-out」を目指します。

単体の先物価格のトレンドのみならず、複数の先物市場間の相対価格のトレンドも売買シグナルのモデルとして取り入れることで、一般的なCTAが苦手とするレンジ相場での収益最大化も狙います。

<MSスターファンズ・運用者コメント>

夏場以降ファンダメンタルズが物価高の方向と転じて金利が上昇しても、債券/金利モデルの売買シグナルはロングポジションが点灯したまま。少々不安な中での配分開始となりましたが、凶らずも11月末にリスクオフ相場が示現して金利は急低下。他のマクロ戦略の組入れファンドとの分散効果を早速に実感しました。

MS Star Funds



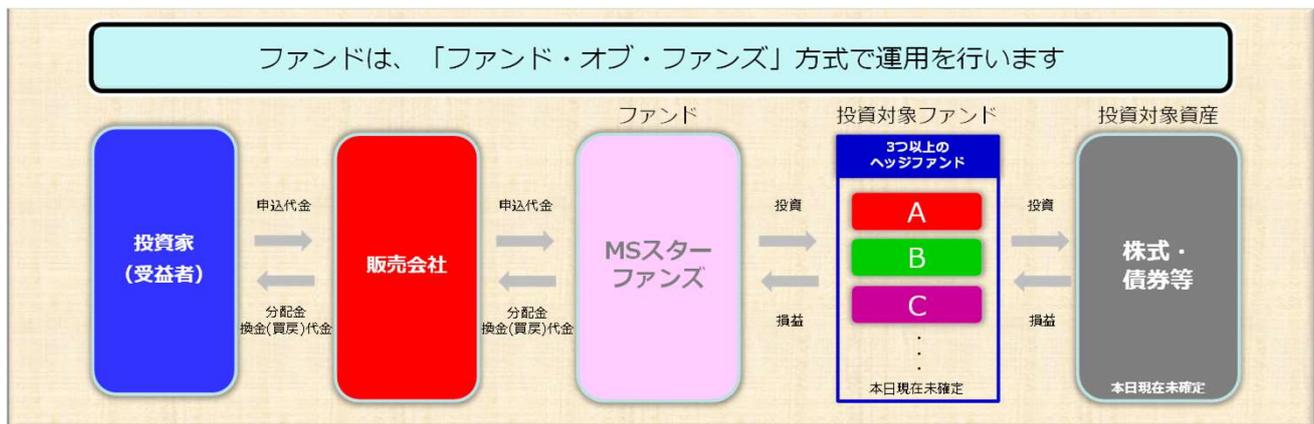
ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

ファンドの特色

■ファンドの特色

- ① 世界のヘッジファンドに分散投資することにより、投資目的を追求します。
 - ・「ファンド・オブ・ファンズ」方式で運用を行います。
 - ・ファンドの主な投資対象は、広義に「ヘッジファンド」として定義しうるオルタナティブ投資ファンドです。
 - ・投資運用会社は、そのネットワークを活用して、世界全体で投資候補となるヘッジファンドを発掘し、徹底的な調査(デューデリジェンス)を行った上、優良ファンド(最低3つ)に分散投資します。
- ② ファンドの基準通貨(米ドル)以外の通貨に対するファンドの為替リスクのヘッジは行いません。
- ③ 年2回(原則として毎年9月および3月)、分配を行うことを検討します。
(注) 受託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み



投資リスク

受益証券1口当たり純資産価格の変動要因

- ファンドは、世界のヘッジファンドに分散投資しますので、投資先ヘッジファンドに組入れられた資産の値動きにより、受益証券の1口当たり純資産価格は変動します。また、ファンドが米ドル建以外の外貨建投資対象に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
- さらに受益証券は、1口当たり純資産価額が米ドル建で算出されるため、円貨でお受取りの際には、為替相場の影響も受け、米ドル建では投資元本を割り込んでいない場合でも、円換算ベースでは損失を被ることがあります。
- したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、1口当たり純資産価格の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ファンドの運用による損益および為替相場の変動による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- ファンドの1口当たり純資産価格の変動要因としては、ファンド・オブ・ファンズ方式の運用に係るリスクならびに価格変動リスク、信用リスク、為替リスク、流動性リスク、カントリーリスク等の一般的リスクがあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建) オープン・エンド型/追加型

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入(発行)価格	<p>申込日の直前の評価日の評価時点に計算される受益証券の1口当たり純資産価格</p> <p>(注1)「申込日」とは、原則として、各月の最初のファンド営業日をいいます。以下同じです。</p> <p>(注2)「ファンド営業日」とは、原則として、シンガポールと日本の銀行が通常の銀行業務のために営業している各日(土日または法定休日を除きます。)をいいます。以下同じです。</p>
購入(申込)単位	<p>当初最低申込金額は100,000米ドル以上。追加最低申込金額は10,000米ドル以上。申込金額の最小単位については、販売会社にお問い合わせください。</p> <p>(注1)申込みは米ドル単位で行われ、該当する受益証券1口当たりの価格で計算された口数の受益証券が割り当てられます。</p> <p>(注2)上記の追加最低申込金額は、分配金の再投資には適用されません。</p>
購入(申込)代金	<p>投資者は、該当する申込日の4ファンド営業日前までに申込金額および申込手数料を販売会社に支払います。</p> <p>(注)購入代金は、「外国証券取引口座約款」その他所定の約款に従い、米ドルで支払うものとします。</p> <p>※申込み手数料については、5頁の「ファンドの費用」をご参照ください。</p>
購入(申込)締切時間	<p>該当する申込日の4ファンド営業日前までに販売会社が受け付けた買付申込みを、ファンドの当該月の受付分として取り扱います。当該日の販売会社の営業終了時刻を過ぎて受領される買付申込みは、翌月の受付分として取り扱います。</p>
換金(買戻)単位	<p>1口以上1口単位とします。</p>
換金(買戻)価格	<p>買戻日の直前の評価日の評価時点に計算される1口当たり純資産価格</p> <p>(注)「買戻日」とは、原則として、各四半期の最初のファンド営業日をいいます。以下同じです。</p>
換金(買戻)代金	<p>通常、買戻日から1~2ヶ月以内にファンドから販売会社に対して買戻金が現金で支払われます。販売会社は、当該買戻金を受領したことを確認し次第速やかに投資者に対して買戻代金をお支払いいたします。</p> <p>(注)買戻代金は、「外国証券取引口座約款」および当該約款の変更契約に従い、円貨または米ドルで支払うものとします。円貨で支払われた場合における米ドルへの換算は東京外国為替市場の外国為替相場に準拠したものであって、販売会社が決定するレートによるものとします。</p>
換金(買戻)の申込締切時間	<p>該当する買戻日の100暦日前の日の日本における前営業日までに販売会社が受け付けた換金(買戻)の申込みを、ファンドの当該月の受付分として取り扱います。当該日の販売会社の営業終了時刻を過ぎて受領される換金(買戻)の申込みは、翌四半期の受付分として取り扱います。</p>
換金制限	<p>受託会社は、各ファンド取引日において、ファンドの発行済受益証券の30%超の買戻請求を受領した場合には、投資運用会社と協議の上、受益証券の買戻しを、その時点で発行されている受益証券の総数の30%に制限することができます。</p> <p>受託会社は、以下の期間の全部または一部について、投資運用会社および管理事務代行会社と協議の上、純資産価額の計算、受益証券の発行、買戻しまたは買戻代金の支払を延期または停止することができます。</p> <p>(a) ファンドの投資対象の重要部分が取引されている証券取引所が通常の休日以外にクローズしている期間または当該取引所における取引が制限もしくは停止されている期間</p> <p>(b) ファンドが投資する投資先ファンドが、その形式を問わず支払の遅延または繰延べ(決済の遅延、制限または停止条項を含む)を実行している期間</p> <p>(c) 緊急事態の結果、(i)ファンドが所有する投資対象の重要な部分の処分が合理的に実行不可能であり、受益者の利益を著しく損なう可能性がある場合、または(ii)ファンドがその純資産価額に公正に決定することが合理的に実行不可能である場合</p> <p>(d) ファンドが、すでに受理されているいずれの買戻請求も、該当するクラスの運用通貨をもって合法的に充足させることができない期間</p> <p>(e) ファンドの投資対象の重要部分の価格の決定に際し通常用いる通信手段に故障が生じている期間</p> <p>(f) 疫病、戦争行為、テロ行為、反乱、革命、社会不安、暴動、ストライキもしくは天災により、またはこれに起因して、投資運用会社または管理事務代行会社のファンドに関する業務の運営が、実質的に中断または閉鎖されている期間</p> <p>(g) 受託会社が、ファンドの解散を決議した場合</p> <p>管理事務代行会社は、かかる停止に関する宣言を受益者に通知するものとし、かつ、当該停止期間の終了した時も受益者に通知を行うものとします。</p>
信託期間	<p>原則として、信託宣言の日付(2021年2月12日)から149年経過した日に終了します。</p>
繰上償還	<p>受託会社は、信託証書に定める一定の場合には、受益者に書面で通知することにより信託期間満了日前にファンドを終了することができます。また、ファンドは、受益者の特別決議によって、いつでも終了されます。</p>
決算日	<p>毎年3月31日</p>
収益分配	<p>受託会社は、年2回(9月末および3月末)、ファンドの収益および実現キャピタル・ゲインから分配を行うことを検討します。(受託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)</p> <p>(注)受益者はその選択により、分配金の全額(一部は不可)を再投資することができます。詳細は販売会社にお問い合わせください。</p>
課税上の取扱い	<p>課税上は公募外国株式投資信託として取扱われます。</p>
その他	<p>受益証券の申込みを行う日本の投資者は、販売会社と外国証券の取引に関する契約を締結します。このため、販売会社は「外国証券取引口座約款」および当該約款の変更契約を投資者に交付し、投資者は、当該約款に基づく取引口座の設定を申し込む旨を記載した申込書を提出します。</p>

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

手続・手数料等

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	申込金額の3.30%(税抜3.00%)を上限とします。申込手数料は、ファンドおよび関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として支払われます。 ※申込手数料には消費税が課せられます。
換金(買戻)手数料	ありません。

投資者が受益証券の保有期間中に信託財産で間接的に負担する費用

純資産価額に対して年率1.1%を乗じた額および純資産価額に年率0.04%を上限とする料率を乗じた額(ただし、年間報酬の最低額が適用される場合があります。)および年間17,500米ドルならびに下記の成功報酬およびその他費用・手数料がファンドの資産より控除されます。さらに、投資先ファンドの報酬および費用が投資先ファンドにおいて直接課されます(詳細は、後記「投資先ファンドの運用管理費用」をご参照ください。)

手数料等	支払先	対価とする役務の内容	報酬率								
運用報酬	投資運用会社	ファンド資産の運用業務	純資産価額の年率0.5% (毎月計算、四半期毎後払い)								
成功報酬			成功報酬計算期間中における1口当たり純資産価格のハイ・ウォーター・マーク(※6頁をご参照)を上回る上昇の10% (毎月計算、四半期毎後払い)								
受託報酬	受託会社	ファンドの受託業務およびファンド資産の保管業務	年間17,500米ドル								
管理事務代行報酬	管理事務代行会社	ファンドおよび各クラスの純資産価額の計算、ファンドの帳簿および記録の作成・保管、マネー・ロンダリング/テロ資金供与防止に関する法令遵守の確保、投資者からの受益証券の申込みおよび買戻請求の受付・処理、受益者名簿の作成・保管ならびにファンドに関するその他の事務管理サービス	<table border="1"> <thead> <tr> <th>管理事務代行報酬(年率)</th> <th>管理中の資産額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.04%</td> <td>1億米ドルまで</td> </tr> <tr> <td>0.03%</td> <td>次の1億米ドルまで</td> </tr> <tr> <td>0.02%</td> <td>2億米ドル超</td> </tr> </tbody> </table> 最低報酬額は、初年度年24,000米ドル、次年度以降年27,600米ドル	管理事務代行報酬(年率)	管理中の資産額	0.04%	1億米ドルまで	0.03%	次の1億米ドルまで	0.02%	2億米ドル超
管理事務代行報酬(年率)	管理中の資産額										
0.04%	1億米ドルまで										
0.03%	次の1億米ドルまで										
0.02%	2億米ドル超										
代行協会員報酬	代行協会員	受益証券の1口当たり純資産価格の公表等の日本証券業協会の関連規則に定める代行業務	純資産価額の年率0.1% (毎月計算、四半期毎後払い)								
販売報酬	販売会社	日本における受益証券の販売および換金(買戻)の取扱業務ならびに投資者への運用報告書の送付を含む投資者に対する一定の顧客サービス業務	純資産価額の年率0.5% (毎月計算、四半期毎後払い)								

その他費用・手数料	上記の報酬に加えて、以下を含みますが以下に限定されない、その投資活動および運営に付随するその他すべての費用がファンド資産から控除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立費用 ・ 売買委託手数料、有価証券の売買に関する費用等の投資プログラムに関する費用 ・ 政府または政府機関に支払われるすべての税金および手数料 ・ 規制遵守および書類提出に関する費用 ・ 監査報酬、弁護士報酬およびその他の専門家報酬 ・ 目論見書、受益者宛の報告書および通知の作成、印刷および配布費用 ・ 訴訟その他の臨時費用 ※その他費用・手数料は、実費としてファンド資産から控除されます。 ※その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。さらに、投資者は、各投資先ファンドに係る手数料・報酬および費用を、以下のとおり、間接的に負担頂くことになります。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

投資先ファンドの運用管理費用

上記のファンドの費用に加えて、ファンドは、投資先ファンドの投資者として、各投資先ファンドの目論見書に記載される費用の按分比例割合を間接的にふたんします。これらの間接的費用には、各投資先ファンドの目論見書に記載される管理報酬、成功報酬、受託報酬、一般管理事務代行報酬、保管報酬等の報酬、ならびに各投資先ファンドの設定・開示・運営に関する費用、各投資先ファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料および銀行手数料等が含まれます。

※ 上記手数料等の合計額については、投資者の皆様のご購入金額やファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

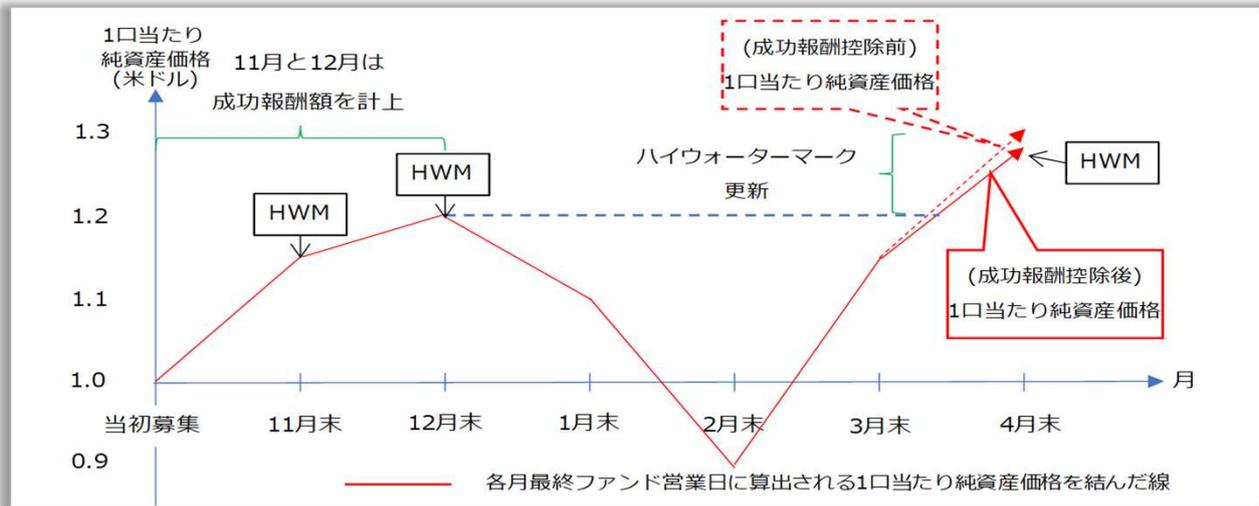
■ 手続・手数料等

■ 成功報酬について

<ハイウォーターマークについて>

ハイウォーターマークは、成功報酬額を計上した場合、同計上日(月末最終ファンド営業日)の1口当たり純資産価格(成功報酬控除後)により更新され、次の評価日(翌月末最終ファンド営業日)降の成功報酬額計算に適用されます。

[ハイウォーターマーク(HWM)と成功報酬のイメージ*]



	運用開始時	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末
① (成功報酬控除前) 1口当たり純資産価格	-	1.1667	1.2056	1.1000	0.9000	1.1500	1.3000
② 直前ハイウォーターマーク	1.0000	1.0000	1.1500	1.2000	1.2000	1.2000	1.2000
③ 成功報酬額 [(①-②)×10%]	-	0.0167	0.0056	-	-	-	0.0100
④ (成功報酬控除後) 1口当たり純資産価格 [(①-③)]	1.0000	1.1500	1.2000	1.1000	0.9000	1.1500	1.2900
ハイウォーターマーク更新		あり	あり	なし	なし	なし	あり
月末時点ハイウォーターマーク	1.0000	1.1500	1.2000	1.2000	1.2000	1.2000	1.2900

- 上記の例では、11月、12月、4月の各月ファンド最終営業日にハイウォーターマークが更新されています。
 - 各月末において、同日の成功報酬控除前1口当たり純資産価格がそれまでのハイウォーターマークを上回った場合、両者の差の10%が成功報酬額として計上されます。
 - 月末の段階で計上された成功報酬額はその時点で確定し、1口当たり純資産価格に反映されますので、たとえその後1口当たり純資産価格が下落したとしても、成功報酬が減額ないし払い戻されることはありません。
 - また、申込の際に直前のハイウォーターマークを下回る1口当たり純資産価格で購入した投資者は、ファンドの1口当たり純資産価格がそのハイウォーターマークを回復するまで成功報酬を負担しないこととなります。
- * 上記は、1口当たり純資産価格に対する成功報酬額のイメージをお示しするために作成したものであり、実際の1口当たり純資産価格、成功報酬額をお示ししたものではありません。

MS Star Funds



ケイマン籍諸島籍契約型公募外国投資信託(米ドル建)
オープン・エンド型/追加型

本書ご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、三田証券が信頼性の高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではなく、本資料に記載された情報を使用することにより被った損害を保証するものではありません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での判断を反映したものであり、今後変更されることがあります。
- 本資料で示したパフォーマンス等は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、元本及び収益分配が保証されているものではありません。
- 運用成果は全て投資者の皆様へ帰属しますが、換金される時、購入された金額を下回る場合もあり、それらのリスクは投資信託をご購入した投資者の皆様が負うことになります。
- 投資信託は、預金ではありませんので、預金保険の対象にはなりません。
- ファンドの受益証券の取得の申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ファンドの受益証券に関する投資信託説明書(請求目論見書)は、投資者の皆様から請求された場合に交付されます。またファンドの受益証券の投資信託約款の主な内容は交付目論見書および請求目論見書に記載されております。

- 代行協会員会社
三田証券株式会社
登録番号：
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第175号
貸金業者 東京都知事(7)第27088号
宅地建物取引業者 東京都知事(1)第103950号
不動産特定共同事業 金融庁長官・国土交通大臣第76号
加入協会：
(金商)日本証券業協会、
(宅建)公益社団法人東京都宅地建物取引業協会
(貸金)日本貸金業協会
<ホームページアドレス> www.mitasec.com
- 管理会社 兼 投資運用会社
三田キャピタル・プライベート・リミテッド

販売会社一覧表[投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで]

金融商品取引業者名	登録番号		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先 物取引業協会	一般社団法人第二種 金融商品取引業協会
	金融商品取引業者	登録金融機関				
三田証券株式会社	○	関東財務局長(金商)第175号	○			